

平成28年度進行管理・評価シート
萩市歴史的風致維持向上計画（平成21年1月19日認定）
（最終変更平成28年3月15日）

☑進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 計画の実施体制の一元化 市民団体との協働	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 歴史的町並みと調和した良好な景観の形成	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 旧萩藩校明倫館活用推進事業	3
2 萩時代まつり	4
3 萩夏まつり	5
4 萩の和船大競漕「おしくらごう」	6
5 浜崎伝建おたから博物館	7
6 ワンコイントラスト(百円信託)運動	8
7 萩ものしり博士検定・子どもものしり博士検定	9
8 萩・万灯会	10
9 萩・大茶会	11
10 萩ものがたり出版事業	12
11 萩焼まつり	13
12 萩・幕末維新検定	14
13 萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業	15
14 語り部育成事業	16
15 地域コミュニティ組織づくり事業	17
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の保存・修理等に関する事項	18～19
2 文化財の普及・啓発等に関する事項	20
3 文化財施設等の活用に関する事項	21～22
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 明治の産業革命世界遺産へほか	23
⑥その他(様式1-6)	
1 萩・明治維新150年記念事業	24
2 萩・世界遺産ビジターセンター学び舎	25
3 歴史まちづくりの効果	26

□総括評価シート【方針の達成状況等】(様式2)

①計画に記載している方針(様式2-1)	27～32
---------------------	-------

□総括評価シート【代表的な事業の質の評価】(様式3)

①歴史的風致維持向上施設の整備・管理(様式3-1)	33～34
---------------------------	-------

□法定協議会等におけるコメントシート(様式4)	35
--------------------------------	----

評価軸②-1
重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
歴史的町並みと調和した良好な景観の形成		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 地区や地域を定めて指定している文化財の周辺部は未指定地域であることから、指定している地区や地域とは極端な景観の差が現れることになる。これを解消するために新築等に際しては、都市計画法及び建築基準法に基づく萩市の都市計画用途地域と景観法に基づく景観計画の重点景観計画区域の設定により規制誘導を行い良好な景観を確保するとともに、地区や地域の指定拡大や追加に努める。歴史的価値が特に高い建造物の周辺には緩衝地帯を設け、周辺環境の保全に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重点区域は、歴史的風致を色濃く残す萩市の中心市街地と重なる。現在、都市計画法に基づき、地域の歴史的特性に合った土地利用が図られるよう適切な用途地域の指定を行っている。また、景観法に基づき平成19年12月に策定された萩市景観計画では、重点的に景観の形成及び保全を図る地域である重点景観計画区域の多くを重点区域内において指定し、地域の特性に応じて詳細な景観形成基準を定め、建築物の高さを主に16m以内又は10m以内に制限するほか、良好な景観形成のための指導等を行っている。さらに、萩市屋外広告物等に関する条例では、重点景観計画区域については自家用広告物以外の広告物の掲出を原則禁止する禁止地域に指定するなど強い制限をかけ、屋外広告物掲出の誘導を行っている。このような施策を住民の理解を得ながら行っており、平成24年4月には萩市景観計画を改訂し、更なる歴史的風致の維持及び向上に努めている。
 ○平成28年度 萩市景観区域内行為届受理件数 64件(平成29年3月31日現在)

進捗状況 ※計画年次との対応

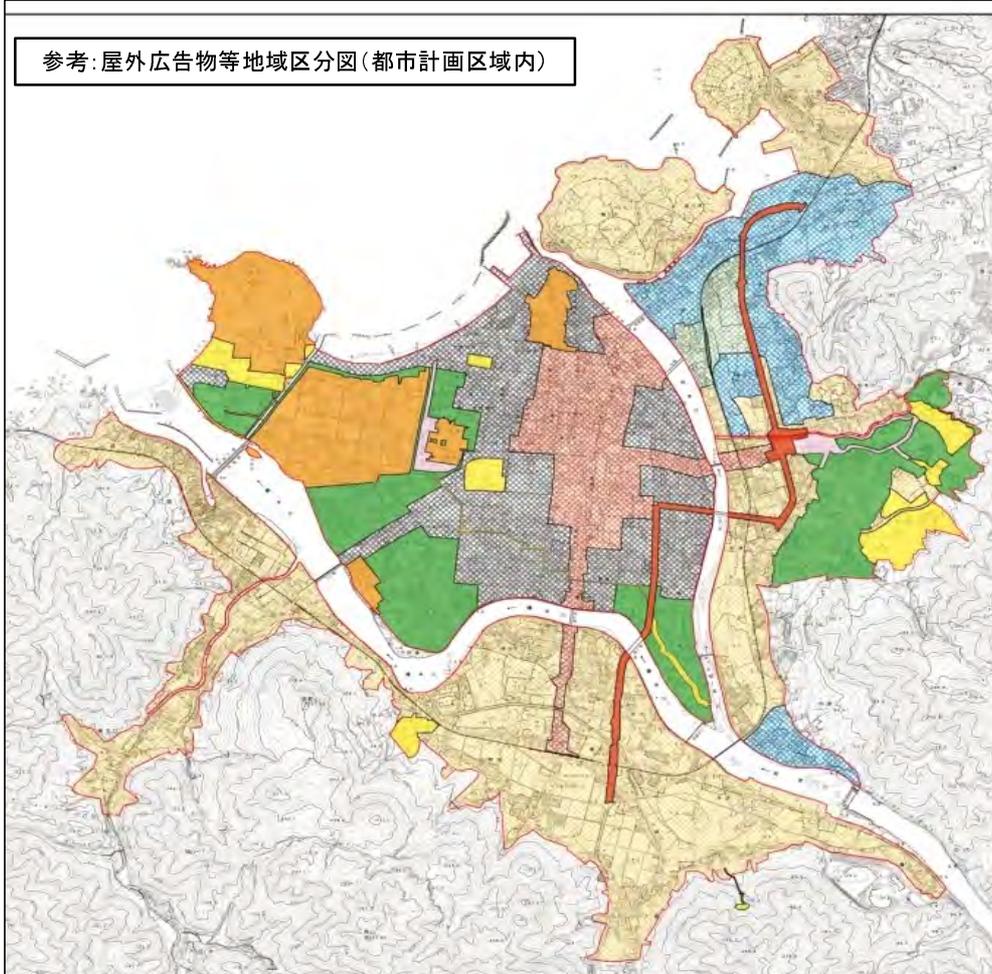
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

景観計画や屋外広告物等に関する条例による規制の理解を得ることに苦慮することがあるが、萩市の景観に対する取り組みを十分に説明し理解していただいた上で基準に適合させた、建築物・工作物等の新築等を行っていただくこととしている。

状況を示す写真や資料等

参考:屋外広告物等地域区分図(都市計画区域内)



禁止地域		許可地域	
	第1種禁止地域		第1種許可地域
	第2種禁止地域		第2種許可地域
	第3種禁止地域		第3種許可地域
	第4種禁止地域		第4種許可地域
	第5種禁止地域		第5種許可地域
			第6種許可地域
			第7種許可地域

※第7種許可地域は都市計画区域外地区

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
旧萩藩校明倫館活用推進事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成26年度～平成30年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、集約促進景観・歴史的風致形成事業
計画に記載している内容	旧萩藩校明倫館は、市街地の中心部に位置し、公共施設や公園、商店街に隣接する利便性の高い場所であることから、今後は「歴史・文化・教育ゾーン」として位置づけ、観光の拠点、教育伝承の場、生涯学習・市民活動の場、資料展示の場として活用することで、歴史的風致の維持及び向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

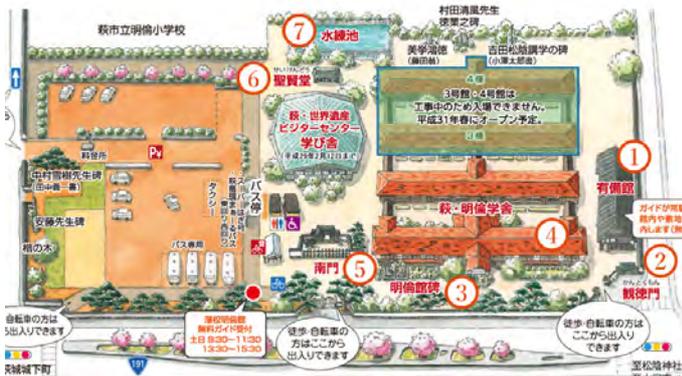
【旧明倫小学校保存整備】

平成28年度の事業内容

- ・本館・2号館の校舎棟保存整備(耐震補強・老朽改修等工事)、利活用整備等(内装整備工事、外構整備工事等)
- ・3号館・4号館の保存整備(実施設計)
- 本館(2,071㎡)・・・観光インフォメーションセンター、ジオパークビジターセンター、萩藩校明倫館展示室、明倫小学校展示室、飲食スペース(萩暦)、物販スペース(お土産ショップ)、復元教室 等
- 2号館(1,703㎡)・・・幕末ミュージアム、世界遺産ビジターセンター
- ※本館、2号館は、「萩・明倫学舎」として平成29年3月4日(土)にオープン

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	公開活用に向けた維持管理、運営体制等の詳細を調整する必要がある。また、大規模事業であるため、財源の確保が課題となっている。

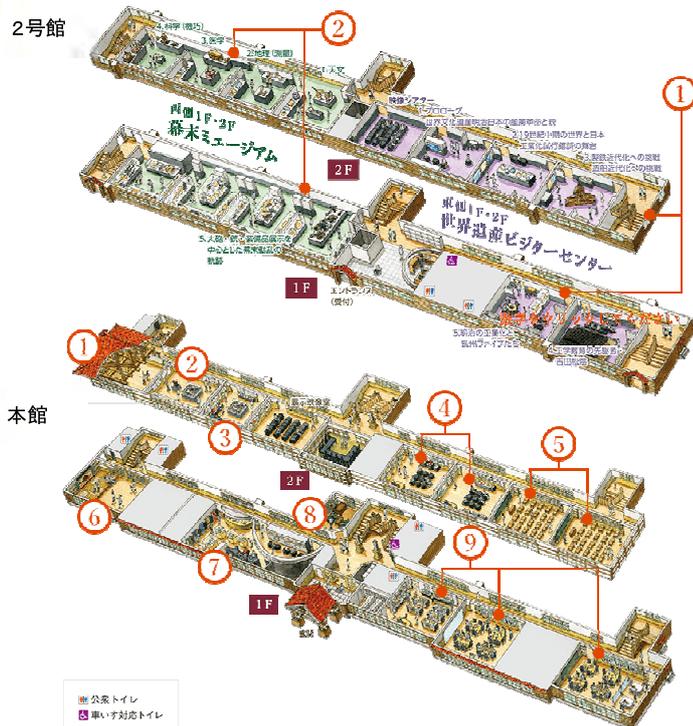
<状況を示す写真や資料等>



上空からみた旧明倫小学校



外観



評価軸③-2
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
萩時代まつり	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成7年度～

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 時代まつりは、藩政時代を起源とする天神祭を核に行われる。毛利の伝統を受け継ぐ2つの奉納行列のほか、町内会による唐樋御神幣、川島聖講などが、萩市内を練り歩き、金谷神社に奉納される。舞台となる萩の町並みがまつりを盛り上げることにより、萩市の歴史的風致の維持向上につながる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

開催日時 平成28年11月13日(日)8時～16時
入込数 46,000人(萩時代まつり、萩ふるさとまつり全体)

今年も秋晴れの下、多数の市民や観光客が詰め掛け、伝統の祭を満喫した。大名行列は例年通り金谷神社への奉納を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



「草履舞」奉納の様子



平安古備組「手廻り備え行列」



古萩大名行列

奉納行列等コース図



評価軸③-3
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
秋夏まつり	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和38年度～

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容
藩政時代から続く、萩市浜崎伝統的建造物群保存地区に位置する住吉神社の祭りに併せて行う。祭りの核となるのが、萩藩の御座船唄であり、山口県無形民俗文化財に指定されている「お船謡」の奉納や「住吉神輿」の奉納である。藩政時代から今に継承される伝統行事を次世代に受け継ぐことにより、萩市の歴史的風致の維持向上に繋がる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

開催日 平成28年8月1日(月)～3日(水)

開催場所 萩市内各所

入込数 109,000人

◆秋夏まつり主なスケジュール

○8月1日(月)20時～21時 「日本海大花火大会」

○8月2日(火)17時～21時 「市民総踊り(ヨイショコショ、トコトンヤレ節)ほか」

○8月3日(水)18時～21時 「お船謡、住吉御輿、踊り車ほか」

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している

計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

「お船謡」の様子



「住吉神輿」の様子



評価軸③-4
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
萩の和船大競漕「おしくらごう」	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成16年度～

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 藩政時代より受け継がれる「おしくらごう」と呼ばれる和船競漕は、玉江浦地区巖島神社の例祭に合わせて行われる。伝統文化を継承していくことにより、歴史的風致の維持向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

開催日時 平成28年6月5日(日)12時00分～
 開催場所 萩市橋本川下流
 入込数 15,000人

「おしくらごう」は、以前は、海上で行われていたが、近年は橋本川下流に場所をかえ、多くの市民や観光客が観覧できるようになった。ねじりはちまき・下帯姿の若者たちが和船に乗り込み、掛け声をあわせて櫂を漕ぎ、銀色の波しぶきをあげ、往時を偲ばせる白熱したレースを繰り広げた。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

「おしくらごう」の様子



【イベントチラシ】

萩のおしくらごう 和船大競漕

2016 6月5日 9:00~13:00
 萩市玉江浦 (橋本川下流域河川敷)

スケジュール
 9:00- 開会式
 9:30- 中学生の部和船競漕
 10:30- 一般の部和船競漕
 11:30- 中学生・一般の部決勝
 12:00- 玉江浦「おしくらごう」
 12:30- 閉会式

会場
 玉江浦 (橋本川下流域河川敷)

同時開催
 玉江浦ふるさとまつり
 8:30 船山車道中、女性部のジャギリ
 12:00 おしくらごう (常盤橋・玉江橋)
 13:30 アトラクション ▶カラオケ・舞踊
 福引抽選会 (午後2時~4時30分まで)
 15:50 子供大会 ▶ゲーム
 16:30 もちまき

お問い合わせ / 山口県漁業協同組合玉江浦支店 ☎0838・25・1493

評価軸③-5
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
浜崎伝建おたから博物館	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成10年度～

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 江戸時代並びに明治、大正及び昭和初期の伝統的建造物が約130棟残る萩市浜崎重要伝統的建造物群保存地区を舞台に、家々に伝わる「おたから」を歴史的な建物内で展示・公開するとともに、萩の特産品販売なども行う。本事業を通じて歴史景観に対する意識の高揚を図ることにより、萩市の歴史的風致の維持向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

開催日時 平成28年5月22日(日)9時～15時
開催場所 萩市浜崎重要伝統的建造物群保存地区 入込数 9,000人

浜崎地区のおたからを広く情報発信するため、地元の「浜崎しっちゃん会」を中心に各種催事が行われている。今回は、保存修理工事現場の特別公開、伝建地区ミニツアー、新鮮な海の幸が味わえる市場食堂、萩市立明倫小学校児童による御船倉での「松陰先生のことば」朗唱と詩吟などが行われた。
また、西光庵では、昨年好評を博した江戸時期頃の仏像33体を今年も一挙公開し、来訪者の関心を集めていた。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

「浜崎伝建おたから博物館」の様子



評価軸③-6
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
ワンコイントラスト(百円信託)運動	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成17年度～

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 萩に残る未指定の文化遺産を保存、活用、継承するため、市内の文化財施設などにトラストボックス(寄付金箱)を設置し、ワンコイン(100円)のトラスト(信託)を求め、財政支援を得にくい未指定の文化遺産の保存を図ることにより、萩市の歴史的風致の維持向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

トラストボックス設置箇所 9箇所
 ①道の駅「萩シーマート」 ②萩博物館 ③道の駅萩往還内「松陰記念館」 ④旧山村家住宅 ⑤渡辺蒿蔵旧宅
 ⑥有備館 ⑦玉木文之進旧宅 ⑧小畑地区世界遺産観光シャトルバス ⑨世界遺産ビジターセンター学び舎
 トラスト金額 累計 30,270,505円 (平成29年3月31日現在)

平成29年2月12日に閉館した世界遺産ビジターセンター学び舎に設置していたトラストボックスを撤去するも、新たに3月4日にオープンした萩・明倫学舎に設置するため、設置箇所は計9箇所と変更なし。
 また、本年度は、平成28年10月に除幕式が行われた「井上勝志気像」の建立事業に対し110万円を助成した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
 □計画どおり進捗していない 文化遺産の保存のため、新たに整備された市内の施設などにトラストボックスの設置を検討する。

状況を示す写真や資料等

今までに修復などを行った萩の宝物

<p style="text-align: center; font-weight: bold;">第1号 井上勝旧宅門</p>  <p>名 称：井上勝(鉄道の父)旧宅門 物件の公開：萩市土庫 206-1 修復年月：平成18年4月</p>	<p style="text-align: center; font-weight: bold;">第2号 猿田彦面山車</p>  <p>名 称：猿田彦面山車 物件の公開：住吉神社のお祭り 修復年月：平成18年10月</p>	<p style="text-align: center; font-weight: bold;">第3号 平安古備組道具類</p>  <p>名 称：平安古備組道具類 物件の公開：前時代まつりや萩博物館で一般公開 修復年月：平成19年7月</p>
<p style="text-align: center; font-weight: bold;">第4号 御網代車</p>  <p>名 称：御網代車 物件の公開：毎年11月に行われる命谷天満宮祭りの御神幸 修復年月：平成20年10月</p>	<p style="text-align: center; font-weight: bold;">第5号 長州砲</p>  <p>名 称：長州砲(萩野流一貫百貫砲) 物件の公開：萩博物館で期間限定公開 修復年月：平成20年8月から平成21年5月末日まで</p>	<p style="text-align: center; font-weight: bold;">第6号 伊藤博文公先祖の墓碑</p>  <p>名 称：伊藤博文公先祖の墓碑 物件の公開：毎年中境内にて常時公開 修復年月：平成21年9月</p>
<p style="text-align: center; font-weight: bold;">第7号 高杉晋作立志像</p>  <p>名 称：高杉晋作立志像 物件の公開：史跡萩城域下町にて常時公開 建立年月：平成22年10月</p>	<p style="text-align: center; font-weight: bold;">第8号 奇兵隊隊服</p>  <p>名 称：奇兵隊隊服 物件の公開：萩時代まつりや萩博物館で一般公開 完成経緯：平成25年6月</p>	<p style="text-align: center; font-weight: bold;">第9号 久坂玄瑞進撃像</p>  <p>名 称：久坂玄瑞進撃像 物件の公開：萩市中央公園にて常時公開 建立年月：平成27年1月</p>

第10号 井上勝志気像

銅像建立

名 称：井上勝志気像
 物件の公開：萩駅前にて常時公開
 建立年月：平成28年10月



評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
萩ものしり博士検定・子どもものしり博士検定	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成17年度～

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 萩ものしり博士検定では、萩の歴史、文化、自然にまつわるストーリーをクイズ形式で学ぶことのできるテキストを題材に試験を実施している。市民や観光客の参加により、萩市の歴史的風致を広く発信している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

開催日時 平成28年11月27日(日) 10時30分～
 ・萩ものしり博士(修士課程)45分間/テキストより100問出題 全問択一式 80問以上正解で合格
 ・萩ものしり博士(博士課程)90分間/テキストより100問出題 記述式・択一式 80問以上正解で合格

開催場所 萩博物館、萩セミナーハウス

平成21年度にテキストを改訂し、民俗、自然の情報を増やした。平成20年度から開催している「子どもものしり博士検定」については、平成24年度から市内の小学生は、各学校で受検する方式に変更し、平成28年度は計412名が受検した。また、本年度より受験者特典ツアーを実施し、旧萩藩校明倫館周辺のまちあるきガイドツアーに41名が参加した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

■萩ものしり博士検定 受検者・合格者数

修士課程				
年度	申込者数	受検者数	合格者数	合格率
H17	250人	234人	213人	91.0%
H18	115人	105人	94人	89.5%
H19	88人	74人	71人	95.9%
H20	81人	70人	56人	80.0%
H21	81人	76人	72人	94.7%
H22	70人	66人	61人	92.4%
H23	94人	89人	85人	95.5%
H24	97人	89人	83人	93.3%
H25	46人	44人	42人	95.5%
H26	55人	49人	46人	93.9%
H27	68人	65人	61人	93.8%
H28	68人	62人	56人	90.3%
合計	1,113人	1,023人	940人	91.9%

博士課程				
年度	申込者数	受検者数	合格者数	合格率
H18	136人	129人	23人	17.8%
H19	89人	81人	32人	39.5%
H20	59人	53人	20人	37.7%
H21	57人	52人	11人	21.2%
H22	39人	36人	11人	30.6%
H23	37人	34人	8人	23.5%
H24	41人	39人	10人	25.6%
H25	38人	33人	10人	30.3%
H26	18人	17人	2人	11.8%
H27	26人	23人	8人	34.8%
H28	32人	29人	9人	31.0%
合計	572人	526人	144人	27.4%

子どもものしり博士 (市内各小学校で受検)	
～H23	124人
H24	791人
H25	475人
H26	440人
H27	394人
H28	404人
合格者	2,628人

検定日当日の様子



受験者特典ツアーの様子



子どもものしり博士検定
用テキスト(改訂版)
「萩ものしりブック」

検定テキスト



評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
--	--------	--------

項目	現在の状況
萩・万灯会	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 昭和42年度～

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 萩・万灯会は、萩藩主毛利家の菩提寺である大照院と東光寺(いずれも重要文化財)で開催される。萩藩主とその一族を弔うための伝統行事であり、本事業の開催によって萩市の歴史的風致を広く発信している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

◆大照院<迎え火>
 開催日時 平成28年8月13日(土) 19時30分～22時(20時～墓前供養)
 入込数 7,700人

◆東光寺<送り火>
 開催日時 平成28年8月15日(月) 19時30分～22時

毛利氏の菩提を弔うため、石燈籠(大照院、約600基、東光寺、約500基)に入れられたろうそくの火が、幻想的な世界を作り出した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

「大照院」万灯会の様子



「東光寺」万灯会の様子



評価軸③-9
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
萩・大茶会	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成9年度～

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 萩焼とともに歴史ある萩の茶の湯文化を紹介するイベント。史跡萩城跡を中心として開催する。萩市の歴史的風致を活用し、萩市の歴史と文化を広く発信している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

開催日時 平成28年5月3日(火・祝)・4日(水・祝) 10時～15時

入込数 11,200人

市内4箇所茶席を開催

①遠州流萩支部【萩城跡指月公園内 花江茶亭】

②表千家千萩会【旧厚狭毛利家萩屋敷長屋】

③小堀遠州流萩支部【旧久保田家住宅】

④裏千家淡交会萩支部【熊谷家住宅】

平成25度からは、旧久保田家住宅と熊谷家住宅を新たな会場とし、城下町散策の周遊を促進している。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

「萩・大茶会」の様子



【イベントチラシ】

萩大茶会

とき 5月3日(火・祝)・4日(水・祝)
午前10時～午後3時・雨天決行(3日午前9時30分～開演式)

ところ (萩市)
 萩城跡指月公園 (遠州流萩支部)
 熊谷家住宅 (裏千家淡交会萩支部)
 旧厚狭毛利家萩屋敷長屋 (表千家千萩会)
 旧久保田家住宅 (小堀遠州流萩支部)

前売券/セット券(両席席) 2,000円 セット券(両席二席) 1,100円
当日券/一席券 600円

問い合わせ先：萩市観光課(平日のみ) ☎0838-25-3139 (萩市観光課)
☎0838-25-3139 (萩市観光協会) ☎0838-25-1750

萩の世界遺産を分かりやすく楽しく紹介!!
萩・世界遺産ビジターセンター
学び舎 まなびや

2017年
2月12日(日)まで
開館時間：9:00～17:00 無休
(最終入場16:30)
場所：旧明倫小学校体育館
111 182 表112 18022 萩市役所裏

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
萩ものがたり出版事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成16年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	萩にまつわる歴史、自然、民俗、芸術などの萩の物語(ストーリー)を、読み易いブックレット形式のシリーズとして出版、定期的に刊行する(年間4冊程度発行)。貴重な萩の情報を書籍出版することにより、萩市の歴史的風致を広く発信している。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成28年4月発行 ・萩ものがたり49号 「ジオパークの開祖 高島北海 ー若き日にみた夢の実現ー」(元山口大学教授 金折裕司 著) ・萩ものがたり50号 「吉田松陰 留魂録」(松陰神社 著、広島大学名誉教授 三宅紹宣 監修) 平成28年10月発行 ・萩ものがたり51号 「幕長戦争」(広島大学名誉教授 三宅紹宣 著) ・萩ものがたり52号 「わが夫、高杉晋作」(萩博物館特別学芸員 一坂太郎 著)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 45%;"> <p>平成28年5月発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・萩ものがたり49号 「ジオパークの開祖 高島北海 ー若き日にみた夢の実現ー」(元山口大学教授 金折裕司 著) ・萩ものがたり50号 「吉田松陰 留魂録」(松陰神社 著、広島大学名誉教授 三宅紹宣 監修) </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 45%;"> <p>平成28年10月発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・萩ものがたり51号 「幕長戦争」(広島大学名誉教授 三宅紹宣 著) ・萩ものがたり52号 「わが夫、高杉晋作」(萩博物館特別学芸員 一坂太郎 著) </div> </div>			

評価軸③-11
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
萩焼まつり		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成3年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	本事業は、日本を代表する工芸品である萩焼を広く紹介するため、市内の窯元や販売店が一堂に集結して行う即売会である。萩焼作家の直接指導によるろくろ体験や特産品の販売も行う。本事業の開催で、萩焼が広く知られることになり、萩市の歴史的風致の情報発信を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
開催日時	平成28年5月1日(日)～5日(祝・木) 9時～17時30分		
開催場所	萩市民体育館		
入込数	29,300人		
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・萩焼窯元等出店事業者 47社 ・ろくろ体験 ・萩焼を使ったテーブルコーディネート展 ・生け花展 ・萩焼抽選会 ・抹茶席 ・特産品の販売 		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

「萩焼まつり」会場内の様子



「萩焼まつり」会場内の様子



萩焼を使用した生け花展の様子



ろくろ体験の様子



評価軸③-12
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況
萩・幕末維新検定		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 萩・幕末維新検定は、平成30年の明治維新150年に向けた事業展開の一つとして、幕末・明治維新に特化し、萩ゆかりの人物や歴史などをクイズ形式により学びながら、近代日本の礎を築いた人物の関連遺産が数多く残る萩の魅力を再発見するとともに、明治維新胎動の地、萩の歴史的風致を広く情報発信することを目的に実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

開催日時 平成29年2月12日(日) 10時00分から
開催場所 萩市民館、JAあぶらんど萩本所(旧萩藩校明倫館横)

内容
 ・検定時間／初級60分中・上級90分間／公式テキストから100問出題／択一式及び記述式 80問以上の正解で合格
 ・受検者特典／松下村塾コース／萩博物館コース／有備館コース
 平成25年11月に公式問題集を発行。平成30年の明治維新150年に向けて毎年開催。平成27年度の第3回目からは、「初級・入門コース」を設けて3段階制とし、全国から広く受検者を募集している。また、3コースの受検者特典には130名が参加した。県外からの受検者は東京都や埼玉県など首都圏や関西、中四国、九州などから47名の参加があった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	県内外からの受検者確保のため、受検者特典の充実と情報発信の強化を進める

状況を示す写真や資料等

検定会場の様子(初級・入門コース)



受検者特典の様子(有備館コース)



○受検者数

年度	級別	申込者数	受検者数	合格者数	合格率
25	—	410人	353人	204人	57.7%
26	中級	189人	180人	88人	48.8%
	上級	104人	100人	49人	49%
27	初級	177人	156人	139人	89.1%
	中級	92人	82人	52人	63.4%
28	上級	82人	78人	34人	43.5%
	初級	182人	150人	126人	84%
	中級	95人	87人	59人	67.8%
	上級	59人	57人	21人	36.8%

○受検者内訳

年度	県内受検者	県外受検者	萩市内受検者	計
25	156人	41人	156人	353人
26	139人	52人	89人	280人
27	144人	49人	123人	316人
28	86人	47人	161人	294人



検定チラシ

評価軸③-13
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～		
支援事業名	文化遺産を活かした地域活性化事業		
計画に記載している内容	萩のまちのおたから(文化遺産)を層り育てながら、誇りをもって次世代に伝えていこうというまちづくりの取組みである「萩まちじゅう博物館」を一層推進するため、まちじゅうに広がるおたから(文化遺産)の調査・認定・公開を行う萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業に市民と協働で取り組む。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
開催日時:平成28年4月1日(金)から平成29年3月31日(金) 事業実施箇所:椿地区、大島地区、(三見地区及び大井地区) 事業主体:萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業実行委員会 事業内容 ・おたから(文化遺産)の調査・記録作成事業 NPO萩まちじゅう博物館と地域の住民が協働で、おたから(文化遺産)を調査・記録する。 ・おたから(文化遺産)認定事業 文化財審議会委員、萩博物館学芸員等からなる「文化遺産認定委員会」を組織し、おたから(文化遺産)の認定審査を行う。 ・おたから(文化遺産)データベースの作成 認定されたおたから(文化遺産)をデータベース化し、ホームページで公開するとともに報告会(おたから総会)を開催する。 ・おたから(文化遺産)普及啓発・育成事業 事業実施地域ごとに交流イベントを開催するとともに「おたからマップ」を作成し、市内外へ情報発信する。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		地域のおたから(文化遺産)をその地域に住む住人に再認識してもらい、活用していただくことの必要性を理解してもらう努力が必要。 状況を示す写真や資料等	
<p>○調査による地域おたからマップの作成</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>【平成25年度】 旧松本村地区、明木地区、佐々並地区、むつみ</p>  </div> <div style="width: 30%;"> <p>【平成26年度】 堀内・平安古・城下町地区、土原地区、川上地域、福栄地域</p>  </div> <div style="width: 30%;"> <p>【平成27年度】 川島・藍場川地区、笠山・越ヶ浜地区、須佐地域、田万川地域</p>  </div> </div> <p>【平成28年度】 椿地区、大島地区、大井地区、三見地区</p> <div style="display: flex;"> <div style="width: 40%;">  </div> <div style="width: 55%;"> <p>○おたから(文化遺産)の調査・記録・交流イベントの様子</p>  </div> </div>			

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度 現在の状況
語り部育成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成24年度～

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 文化財施設などで観光客等に、萩市の豊かな歴史、文化、自然等につわる物語(ストーリー)を語る「語り部」により、萩市の歴史的風致を活用するとともに、歴史や文化を広く全国発信する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・平成30年の明治維新150年へ向けた関連事業として「萩・明治維新を学ぶ 萩の語り部歴史講座」を開催し、観光客等に萩物語を語り広める活動を行った。

【萩の語り部歴史講座①】

開催日時 平成28年10月1日(土)～11月20日(日)の間の土日曜日に開催

開催場所 旧萩藩校明倫館内有備館、青木周弼旧宅、森井家住宅、渡辺蒿蔵旧宅、平安古かいまがり交流館

【萩の語り部歴史講座②(出前講座)】

開催日時 平成29年2月12日(日)、3月4日(土)に開催

開催場所 旧萩藩校明倫館内有備館、萩・明倫学舎

(なお、市外ではあるが、平成28年4月15日(金)に島根県江津市石見智翠館高等学校でも出前講座を実施した)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○萩の語り部歴史講座の様子①



○萩の語り部歴史講座の様子②(出前講座)



○萩の語り部歴史講座①

演題：「晋作VS玄瑞」「長州ファイブにみる志とは」「久坂玄瑞の生涯と禁門の変」「高杉晋作の死生観」
 「毛利敬親の教育改革～旧萩藩校明倫館～」 「幕末を駆けた高杉晋作」「長州ファイブ 井上勝の志」ほか

実施回数：44回

聴講者数：363人

○萩の語り部歴史講座②(出前講座)

演題：「明倫館と有備館について」「毛利敬親の教育改革～旧萩藩校明倫館～」 「長州ファイブにみる志」

実施回数：3回

聴講者数：653人

評価軸③-15
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度 現在の状況
地域コミュニティ組織づくり事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成19年度～

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 過疎高齢化の進展に伴い、広域的に自治機能を補完し合い、コミュニティの維持及び振興を図る仕組みづくりとして、校区等を単位とした地域コミュニティ組織づくりを推進し、地域コミュニティの強化を図る。このことにより、各地域に古くから伝わる伝統芸能や伝統行事の継承、自然景観や歴史的景観の保全等が期待でき、もって歴史的風致の維持及び向上を図ることができる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

過疎化や少子高齢化により、地域の祭礼や草刈等の集落活動が徐々に困難となっている中で、地域の特色を活かした地域づくりを推進するために、「魅力ある地域づくり交付金制度」を創設し、集落や既存の団体の垣根を越えて地域全体で補い合うことができる新たな地域コミュニティづくりを推進している。

平成28年度交付実績

- ・交付地域 6地域(川上、むつみ、旭、福栄、須佐、田万川地域)
- ・交付金額 32,847千円

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○魅力ある地域づくり交付金の活用例



【須佐地域】

- ・須佐地域元気もりもり祭り開催事業
- ・育英小学校児童による子ども神楽



【福栄地域】

- ・世界遺産登録1周年記念
- ・「秋のたたらまつり」開催事業
- ・大板山たたら太鼓同好会20周年記念行事と同時開催
- ・ブラックバス釣りトーナメント
- ・ペーパーナイフ作り体験イベント



【旭地域】

- ・萩往還佐々並どうしんてやろう会
- ・国の重要伝統的建造物群保存地区のまちづくり活動を計画
- ・旧小林家住宅の活用内容と整備内容を検討

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度
	現在の状況	
①文化財の修理(整備を含む) ②文化財の保存 ③文化財の周辺環境の保全 ④埋蔵文化財の調査	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容

文化財の修理については、それを構成する部材細部に特に注意し、破損が進んで部材を大きく取り替えることがないように所有者が日常的な手入れを怠らないよう定期的な清掃・点検や関係機関への連絡等の管理体制を確立する。保存管理計画を策定している文化財については、基本方針等に従って適正な保存管理を行っており、今後も計画に基づき保存管理を進めていく。保存管理計画を定めていない指定文化財については、文化財保護法等に基づき、現状変更及び保存に影響を及ぼす行為に対して、個別案件ごとに本質的価値を保全するために許可制による行為の規制を行っている。文化財周辺の環境を保全については、都市計画法及び建築基準法に基づく萩市都市計画の用途地域と景観法に基づく景観計画の重点景観計画区域の設定や歴史的景観保存地区等の緩衝地帯を設け、周辺環境の保存に努める。埋蔵文化財の包蔵地に関しては常に現況を把握するとともに、開発等に当たっては事前に協議を行うよう指導し、できる限り包蔵地を回避するなどの措置を講じ保護に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財の修理・保存については、文化財保護指導員と協力し、定期的に各地域の文化財の巡視のもと維持補修等を適切に実施し、かつ長期的な計画に基づき各年度ごとに保存修理事業や発掘調査を計画通り実施している。また、その他の文化財についても、随時、修復に努めるとともに、未指定文化財の調査などを進めている。

【平成28年度主要事業】

- ・重要文化財大照院本堂及び経蔵保存修理工事(継続)
本堂は本瓦葺の屋根工事、経蔵は建物周辺の石垣積み直しを実施(期間:平成22年度～平成29年度)
- ・史跡旧萩藩校明倫館復元整備事業
- ・史跡萩城跡北矢倉跡南方土塀跡石垣保存修理工事
北矢倉跡の南側に位置する土塀跡の上部遺構について顕著に変位した部分の石垣解体修理を実施。
(期間:平成27～28年度)
- ・伝統的建造物群保存地区内の伝統的建造物等の修理・修景 4件
民間が所有する土塀、商家の主屋の保存修理を実施
- ・佐々並市伝統的建造物群保存地区 旧小林家住宅整備工事(継続)
伝統的建造物である主屋の軸部の改修、土蔵の軸部の改修及び屋根葺替などを実施(期間:平成27年度～平成28年度)
- ・文化財の周辺環境の保全
萩反射炉(国指定史跡)見学路の整備 見学者の利便性向上のため、萩反射炉(国指定史跡)に見学路を改修した。
- ・埋蔵文化財の調査については、史跡地及び周知の埋蔵文化財の調査を随時実施し、埋蔵文化財の適切な記録及び保存を図っている。
恵美須ヶ鼻造船所跡発掘調査、旧萩藩校明倫館発掘調査

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	未指定文化財等の総合的な把握及び文化財指定、整備を計画的に行う必要がある。

状況を示す写真や資料等



重要文化財の保存修理
(国指定重要文化財大照院)



伝統的建造物(土塀)の保存修理
(堀内伝建地区)



国指定史跡の整備
(国指定史跡旧萩藩校明倫館)



国指定史跡の保存修理
(国指定史跡萩城跡 北矢倉南方土塀跡)



埋蔵文化財の発掘調査
(国指定史跡恵美須ヶ鼻造船所跡)



公有伝統的建造物の整備
(佐々並市伝建地区 旧小林家住宅)



指定文化財周辺の環境整備
(国指定史跡反射炉)



国指定史跡の整備(計画策定)
(国指定史跡旧萩藩校明倫館)



国指定史跡の整備(計画策定)
(国指定史跡大板山たたら製鉄遺跡)

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度
	平成28年度 現在の状況
①文化財の普及・啓発 ②文化財の防災	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 萩市は、文化財を大切に保存・活用し、萩にしかない宝物を次世代に確実に伝えることを宣言した萩まちじゅう博物館条例を平成16年に制定した。「文化財保護強調週間」には、文化財に親しんでもらうことを目的とした文化財の公開や史跡めぐりなどの行事を実施しており、「文化財防火デー」には、消防署、文化財所有者等の協力を得て防火訓練などの文化財防火運動を展開している。また、このような行事のほかに保存修理工事の際は、できる限り現場見学会や住民参加型のイベントを実施し、さらには広報紙等を活用して文化財情報を市民に発信するなど文化財の保存及び活用の普及・啓発を図っている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成27年7月に萩反射炉をはじめとする萩市の5資産を含む「明治日本の産業革命遺産 製鉄・鉄鋼、造船、石炭産業」が世界文化遺産に登録された。これに伴い、広く普及・啓発が行なわれ、ガイド活動も盛んに展開されている。保護の観点からは定期的なモニタリングに基づき各構成資産の適切な管理と保存を図っていく必要がある。また、萩藩校明倫館内にある旧明倫小学校も「萩・明倫学舎」として学ぶ観光の新たな起点施設として整備され、官民連携しその活用に取り組んでいる。その他の文化財については、文化財保護指導員や地域住民と協力し、セミナーや見学会等の機会を捉えて各地域の文化財の普及・啓発に努めている。さらに、未指定文化財の調査などを進めるとともに、まちじゅうに広がる文化遺産の調査・記録・認定の事業を継続し、萩全域での文化遺産の再発見と保全に務めている。

【平成28年度主要事業】

- ・文化財防火訓練
 国指定史跡萩城跡内の志都岐山神社や、旧福原家書院(市指定有形)、花江茶亭(市指定有形)にて、文化財防火デーに合わせ、住民や消防本部、消防団の参加を得て、文化財の防火に関わる講義と文化財防火訓練を実施した。 H29.1.21
- ・文化財の修理見学会
 国指定国指定重要文化財 大照院本堂・経蔵保存修理現場の一般見学会を実施した。 H28.9.17
- ・文化財の維持管理
 堀内町内会や平安古町内会により国選定重要伝統的建造物群保存地区内の清掃を年間を通じて定期的に実施している。
- ・文化財保存団体の研修
 伝統的建造物群保存地区内の保存団体等の代表者3名が全国伝統的建造物群保存地区協議会住民研修会(石川県加賀市)に参加した。 H28.5.25～H28.5.27
- ・文化財の利活用に向けた協議
 佐々並市伝統的建造物群保存地区内の旧小林家住宅の次年度からの整備とその後の活用・管理について話し合う旧小林家住宅整備活用協議会を2回開催した。 H28.7.27、H29.2.9
- ・文化財の普及啓発
 祝世界文化遺産登録 萩の産業遺産群 絵画募集・フォトコンテストを実施した。
- ・文化遺産(おたから)の調査、認定、公開
 萩まちじゅう博物館に点在するおたから(文化遺産)を調査し、後世に継承すべきおたからとして認定するとともに、これらをデータベース化して公開する事業に市民とともに取り組んだ。

進捗状況 ※計画年次との対応
 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



文化財防火訓練
(文化財防火デー)
【萩城跡(国指定史跡)】
H29.1.21



世界文化遺産ガイド
【萩反射炉(国指定史跡)】



文化財の修理見学会
【大照院本堂・経蔵(国指定重要文化財)】
H28.9.17



萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業
【椿地区、大島地区の2地区】
H28.4.1～H29.3.31
萩のまちじゅうに広がる文化遺産の調査・記録・認定・公開を行う事業



保存地区住民による清掃
【堀内伝統的建造物群保存地区】
堀内町内会伝建委員会が中心となり、保存地区内の主要箇所の草刈りや清掃を定期的実施。



旧小林家住宅整備活用協議会
【佐々並市伝統的建造物群保存地区】
H28.7.27、H29.2.9
旧小林家住宅の整備内容と完成後の活用・管理について協議した。

評価軸④-3 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
①文化財施設等の活用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	市内全域には国指定等文化財、県指定文化財及び市指定文化財として名勝及び天然記念物を除く総数が187件にのぼり、そのほとんどは歴史観光を基軸とする萩観光の資源であることから、標識や解説板などを整備し、市民をはじめ観光客に一般公開している。特に、内部を公開している文化財については、関連する史料の展示や年中無休のボランティアガイドによる案内、解説を行うとともに、四季を通して催し物を開催している。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
文化財の活用については、NPO萩観光ガイド協会や各まちづくり団体、実行委委員会等と連携し、史跡や文化財建造物・歴史的風致形成建造物の一般公開を進めるとともに、各催事等の舞台として積極的な利活用を図った。また、伝統行事や萩焼などの伝統的工芸品についても、活動支援や普及啓発に繋がる事業を行った。			
主な事業等 【平成28年度】 萩城跡ライトアップ、萩焼まつり、萩・大茶会、須佐湾遊覧船、萩往還まつり「技・明木展」、萩・夏みかんまつり、萩・オープンガーデン、浜崎伝建おたから博物館、おしくらごう、萩夏まつり、萩・万灯会、着物ウィークin萩、萩竹灯路物語、秋の萩焼まつり、萩時代まつり、萩往還佐々並おいでん祭、萩ものしり博士検定、萩城下町マラソン、萩城下の古き雑たち、萩・椿まつり、萩・幕末維新検定、萩往還ワンデーウォーク2017			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
<h3>平成28年度 文化財施設等活用イベント</h3>			
 <p>文化財施設ライトアップ 【萩駅舎(登録有形文化財)】 通年:日没～22:00 萩城跡、萩駅舎等のライトアップイベント</p>	 <p>萩往還まつり「技・明木展」 【萩往還(史跡)】 5月3日(祝・火)・4日(祝・水) 萩往還沿いの明木地区の町並みを活用したイベント(7,000人)</p>	 <p>萩・夏みかんまつり 【萩市平安古地区重要伝統的建造物群保存地区ほか】 5月14日(土)・15日(日) 夏みかんの花の香りとともに萩の町並みや夏みかん製品を広くPRするイベント(7,040人)</p>	
 <p>須佐湾遊覧船 【須佐湾(名勝及び天然記念物)】 4月24日(日)～10月31日(月) 名勝である須佐湾を広くPRするため運航(2,432人)</p>	 <p>萩オープンガーデン 【菊屋家住宅(重要文化財)、口羽家住宅(重要文化財)、旧湯川家屋敷(市指定史跡)、渡辺蒿蔵旧宅ほか全26施設】 5月14日(土)～5月22日(日) 文化財施設や民間住宅のお庭巡りを楽しんでいただくイベント(5,000人)</p>	 <p>着物ウィークin萩 【萩城城下町(史跡)ほか】 10月1日(土)～23日(日) 和の装いで、江戸時代の趣を残す萩の町並みを楽しんでいただくイベント(12,500人)</p>	



萩竹灯路物語
【萩城城下町(史跡)ほか】
10月7日(金)、8日～23日の土日
竹灯籠の灯りで、城下町を照らし夜の町並みの魅力をPRするイベント (5,238人)



秋の萩焼まつり
10月7日(金)～10日(祝・月)
伝統的工芸品である萩焼を広く普及させるためのイベント (17,500人)



萩往還佐々並おいでん祭
【萩市佐々並市重要伝統的建造物群保存地区】
11月22日(日)
佐々並市の町なみ散策とともに特産品をPRするイベント(3,200人)



萩城下町マラソン
【萩城跡(史跡)、萩城城下町(史跡)ほか】
12月11日(日)
萩まちじゅう博物館を舞台に、全国から4,224人の申込みがあり、3,545人が完走した。



萩城下の古き雛たち
【菊屋家住宅(重要文化財)、口羽家住宅(重要文化財)ほか10施設】
2月3日(金)～4月3日(月)
萩市民が大切にしてきた雛人形を市内の文化財施設に飾りまち歩きを楽しんでいただくイベント (H28 26,897人)



萩・椿まつり
【笠山虎ヶ崎ヤブツバキ群生林(天然記念物)】
2月11日(土)～3月20日(月・祝)
椿の花の季節に、日本でも屈指の椿群生林を楽しんでいただくイベント
(H28 57,846人)



萩往還ワンデーウォーク2017
【萩往還(史跡)】
3月25日(土)
萩往還を歩き、維新の志士が往来した歴史ある街道を楽しむスポーツイベント
(H28 1,350人)

※()は集客数

評価軸⑤ 効果・影響等に関する報道		評価対象年度
報道等タイトル	年月日	28年度 掲載紙等
【萩の産業革命遺産関連記事】 世界遺産を長州ファイブ案内 萩でタブレット貸し出し "名誉館長"松陰です 萩・世界遺産ビジターセンター 萩市に世界遺産認定証 政府、複製を交付 世界遺産学び舎入場1万人 「五つの遺産」DVD貸し出し 世界遺産の道路案内標識 萩の5遺産市内37カ所に設置 世界遺産1年 催し目白押し 世界遺産「明治日本の産業革命遺産」訪問客増へ推進協発足 「萩城下町、工業化へ試行錯誤」世界遺産セミナー、萩で80人 たたら製鉄遺跡の講演 萩で世界遺産登録を記念 萩・世界遺産センター2万人 萩・世界遺産ビジターセンター学び舎 入館者2万人達成 世界文化遺産の意義考える 萩で登録1年記念シンポ 反射炉の縁 荊山高生ら来訪 きょう萩高で交流会 世界遺産学び舎3万人 萩・世界遺産ビジターセンター 入館者3万人を突破 世界遺産構成資産「恵美須ヶ鼻造船所跡」萩市が発掘調査開始 世界遺産学び舎 来館4万人 小中学生が描く「世界遺産」萩・ビジターセンターで絵画展 世界遺産 萩の製鉄遺跡に展示休憩室「大板山たたら館」完成	H28.4.3 H28.4.14 H28.4.15 H28.4.17 H28.4.27 H28.6.3 H28.6.12 H28.6.21 H28.6.23 H28.6.25 H28.6.30 H28.6.30 H28.7.8 H28.8.5 H28.8.28 H28.8.31 H28.10.4 H28.11.11 H28.11.22 H29.3.23	朝日新聞 山口新聞 読売新聞 読売新聞 山口新聞 毎日新聞 朝日新聞 朝日新聞 山口新聞 読売新聞 読売新聞 毎日新聞 読売新聞 朝日新聞 読売新聞 西日本新聞 毎日新聞 朝日新聞 朝日新聞 毎日新聞
【明治維新150年記念事業関連記事】 「鉄道の父」井上勝銅像に 恋文-等身大の晋作 萩博で特別展 「鉄道の父」井上勝 銅像建立へ寄附金募集 「鉄道の父」井上勝の像 市民ら寄付、萩駅前で除幕式 明治150年記念「薩長同盟」切手 萩などで販売 明治150年2017年版ロゴ 萩市と観光協会が制作	H28.4.6 H28.4.14 H28.5.24 H28.10.15 H28.11.1 H29.2.9	朝日新聞 山口新聞 山口新聞 朝日新聞 毎日新聞 読売新聞
【その他計画に関連する記事】 青木周弼旧宅の修復終了 萩焼まつり2万点集合 GW、優雅に萩・大茶会 萩ものがたり49、50号出版 「高島北海」「吉田松陰 留魂録」 伝統の競漕「おしくらごう」 おしくらごう白熱レース 萩・玉江浦地区 「萩ものがたり」創刊50号 吉田松陰の号人気増刷も 旧明倫小学校舎、観光の新起点 「萩・明倫学舎」来春オープン クイズで探検 萩ブック改訂 伝建地区選定40年展 萩の堀内・平安古、全国初 「萩・明倫学舎」運営団体が発足 年内にNPO法人化 萩の大照院、鬼瓦も間近に 17日、修理中の一般見学会 国重文・大照院 修理を見学 「萩ものがたり」に新作 幕長戦争 ■高杉晋作 萩ものしり博士検定に91人挑む 修士56人、博士9人合格 萩15か所ひな人形1200体 萩・幕末維新検定、県内外から294人 「萩・明倫学舎」4日オープン「観光や歴史伝える舞台に」 萩・明倫学舎完成式 旧小学校卒業生ら250人参加	H28.4.3 H28.5.2 H28.5.4 H28.5.25 H28.6.2 H28.6.6 H28.6.12 H28.6.30 H28.7.22 H28.9.1 H28.9.14 H28.9.14 H28.9.18 H28.11.1 H28.11.30 H29.2.2 H29.2.14 H29.3.1 H29.3.4	読売新聞 毎日新聞 朝日新聞 山口新聞 朝日新聞 読売新聞 読売新聞 朝日新聞 朝日新聞 朝日新聞 朝日新聞 読売新聞 山口新聞 山口新聞 山口新聞 毎日新聞 毎日新聞
<p>歴史的風致維持向上計画の着実な推進などにより、全国に先駆けて歴史的な景観や貴重な遺産を大切に保存してきた大きな成果として、平成27年7月に市内5つの構成資産を含む「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」が、世界文化遺産に登録されたことや平成30年の明治維新150年に向けた記念事業の関連情報が報道された。また、平成29年3月にオープンした「萩・明倫学舎」は、藩校明倫館跡地にある旧明倫小学校校舎棟を整備・活用していることから、全国的な話題となった。このほか計画に記載している各種イベントや市内でロケのあったテレビ番組が全国に配信され、萩の歴史文化や町並み、また、これらを活用した各種取組の周知が図られた。</p>		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施にあたっての課題(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	各事業の報道を行ってもらうために、各メディアに対する細かな情報提供や萩らしい特色ある事業の実施が重要である。	

評価軸⑥-1
その他

評価対象年度 平成28年度

項目

萩・明治維新150年記念事業

計画に記載している内容 萩が日本の歴史にかかわった最大の出来事は、明治維新であり、吉田松陰やその門下生である高杉晋作、木戸孝允をはじめとする幕末維新の志士、伊藤博文、山縣有朋ら近代国家確立に尽力したいわゆる長州閥と呼ばれる政治家、藤田伝三郎、渡辺蔭蔵ら実業家など、その前後の時代に多くの逸材を輩出したことである。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

平成30年(2018)に「明治維新150年」の節目の年を迎えるにあたり、近代日本の扉を開いた先達の歴史をひもとき、「明治維新胎動の地」として、先達の織りなす「幕末・維新の萩物語」を語り広め、次の世代に語り継ぐため、記念事業を開催。
事業期間:平成26年度～平成30年度

事業主体:萩・明治維新150年記念事業実行委員会(行政、経済団体、NPOなど12団体で組織 事務局:企画政策課)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画の進捗に影響あり
 計画の進捗に影響なし

平成30年の明治維新150年まで、萩市民の機運を高めるための記念事業を毎年開催予定。

状況を示す写真や資料等

テーマ

◆ 江戸時代の地図が今なお使える「萩まちじゅう博物館」を楽しもう！

◆ 先達の織りなす「幕末・維新の萩物語」を語り継ごう！

◆ 19世紀末の世界史の奇跡と言われる日本近代化の原点となった「萩」を学ぼう！

ロゴマーク



主要事業

- 奇兵隊パレード(おもてなし事業)
期日 5月5日、10月30日
場所 萩城下町(江戸屋横町～晋作広場)／晋作広場
期日 11月13日(萩時代まつり)
場所 中央公園～御許町交差点～金谷天神(市民体育館)
- 萩・明治維新を学ぶ「萩の語り部歴史講座」(おもてなし事業)
期間 10月～11月
場所 旧萩藩校明倫館有備館／青木周弼旧宅／森井家住宅渡辺蔭蔵旧宅
／平安古かいまがり交流館
内容 萩の語り部による維新関連の歴史講座
受講者 363名
- 萩・明治維新150年シリーズⅣ フレーム切手(PR事業)
期日 10月31日
内容 鹿児島市、日本郵便(株)中国支社および九州支社との連携により「薩長同盟150年」をテーマに鹿児島県内、山口県内で販売。
- 旧萩藩校明倫館おもてなし事業(おもてなし事業)
期間 4～2月(土日曜日および3連休以上の祝日)
場所 旧萩藩校明倫館
内容 案内人による旧萩藩校明倫館敷地内のガイド事業
- 萩観光キャンペーン(プレDC関連、世界遺産PR、薩長連携、次年度PR等)(おもてなし&PR事業)
○プレDC: 薩長連携、世界遺産、萩・明倫学舎PRほか:(9～12月)
10月10日 鹿児島中央駅でのPR
10月15日 ゆず博(福岡市)でのPR
11月03日 おはら祭および薩摩維新ふるさと博(鹿児島市)でのPR
11月13日 鹿児島市が萩ふるさとまつりでPR(相互訪問) ほか
○次年度PR: 高杉晋作没後150年行事(平成29年4月)調整(1～3月)
萩・明治維新150年記念事業実行委員会 事業
●維新劇・創作ミュージカル「SHOWIN～若き志士たち～2016」(8月28日)
●大政奉還150周年記念プロジェクト連携 幕末維新スタンプラリー(平成29年1月22日～)
●萩・明倫学舎オープン(平成29年3月4日)
●萩・明倫学舎オープン記念 萩市民大学教養講座(平成29年3月5日)
演題:「明治維新と萩(長州)藩」
講師:井沢元彦氏(作家)
- その他
第4回萩・幕末維新検定(初級、中級、上級)



評価軸⑥-2
その他

評価対象年度 平成28年度

項目

萩・世界遺産ビジターセンター学び舎

計画に記載している内容 萩まちじゅう博物館の中核施設である萩博物館や地域博物館を管理運営するとともに文化財の再発見、その登録や管理、情報発信、活用を行い、文化財を活用した催し物、講演会、シンポジウム等を開催する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

平成27年7月世界文化遺産に登録された「明治日本の産業革命遺産」。8県11市の23資産の中でも近代化の原点といわれる萩の5資産の位置づけや、吉田松陰がわが国の工学教育に果たした役割、23資産全体を映像やパネル、アニメーション等を使ってわかりやすく楽しく学べる施設を花燃ゆ大河ドラマ館閉館後の旧明倫小学校体育館に開設し、運営した。

【期間】平成28年1月30日(土)～平成29年2月12日(日)

【時間】午前9時～午後5時(無休)

【料金】大人 300円、大人団体 240円、生徒・児童(小・中・高生) 100円、生徒・児童団体 80円

【入館者数】

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

「19世紀末の世界史の奇跡といわれる日本近代化の原点 萩」

- ①19世紀中期の世界と日本
- ②工業化試行錯誤の舞台／萩城下町
- ③製鉄近代化への挑戦／萩反射炉
- ④造船近代化への挑戦
／恵美須ヶ鼻造船所跡・大板山たたら製鉄遺跡
- ⑤工学教育の先駆者吉田松陰／松下村塾
- ⑥明治の工業化と「長州ファイブ」たち



見どころMAP

吉田松陰先生が工学教育の重要性を説いた講義をアニメ映像で楽しめます。



(アニメーションイメージ)

吉田松陰に学んだ伊藤博文をはじめとする長州ファイブ、そのほか門人たちの工業化への貢献を紹介します。



150インチの大型スクリーンで「明治維新の原点・萩—日本近代化の軌跡—」を上映。



(シアターイメージ)

西洋で発生した産業革命の波が地球を半周して日本でどのように導入されていったのが、その一連の動きを紹介します。



(入口イメージ)

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 28年度

項目

萩市歴史的風致維持向上計画(全体)

萩市では、市内に豊富に遺存する文化遺産を将来にわたって確実に継承していくため、文化財保護に努めるとともに、歴史的景観の保存に取り組んでいる。
 計画に記載している内容 本計画は、萩の豊かな歴史的風致の維持及び向上を図り、萩市におけるまちづくりの基本理念「市民自らが考え、主体的に取り組む市民本位のまちづくり」、「誇るべき歴史・文化・豊かな自然に調和し、新たな価値を創造する活力と魅力あるまちづくり」を実現するための計画のひとつとして位置づけ、策定にあたっては、関連する「萩市景観計画」及び「萩市都市計画マスタープラン」との整合性を図ることとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

萩市歴史的風致維持向上計画に基づき、一元化した実施体制を構築するとともに市民団体と協働により計画を推進している。

具体的には、①重点区域における良好な景観形成のための事業と②歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する各事業を進めたことにより、各イベント参加者数、萩市全体の観光客数が高水準を維持しており、観光振興並びに地域経済の活性化への効果があった。

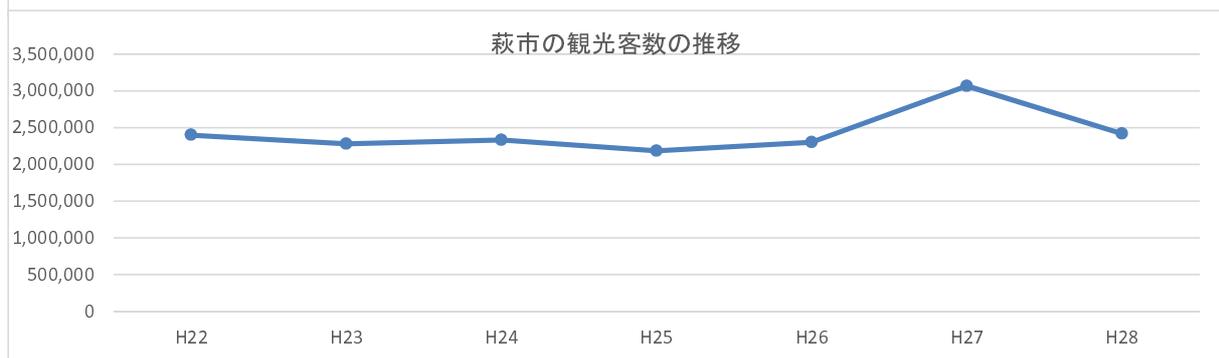
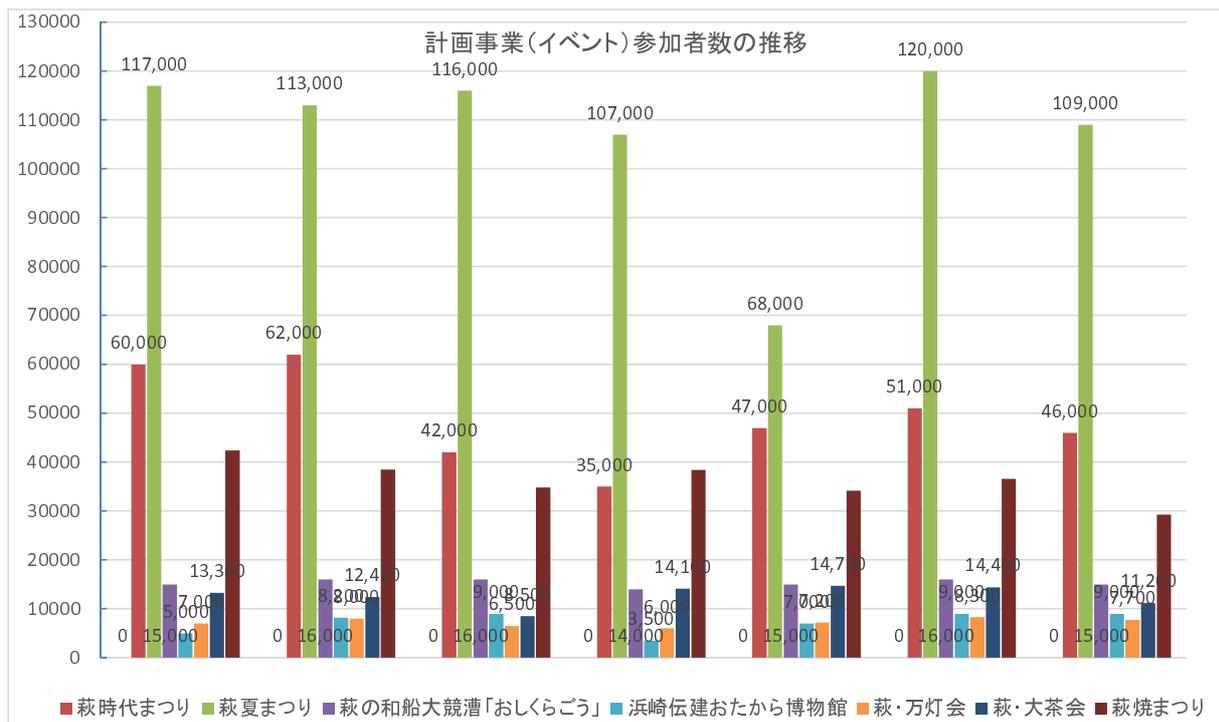
また、2015年7月に世界遺産へ登録された「明治日本の産業革命遺産」に、萩市の5資産が含まれるなど、これまでの取組みの成果が現れている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



総括評価シート【方針の達成状況等】

(様式2-1)

評価対象年度	26年度～ 28年度
計画に記載している方針	<p>古代から続く萩市固有の歴史や風土、毛利藩政期から現代に至るまで人々によって伝承されてきた祭礼や伝統行事、伝承芸能、萩焼などの工芸、四手網漁などの産業技術を絶やすことなく将来へ確実に継承し、もって地域の文化及び産業の振興を図る。</p>
計画に記載している課題	<p>萩市においては高齢化及び過疎化の進行が著しく、その結果、町内会においても若年層の減少から、組織の弱体化が懸念されている。萩市固有の歴史及び伝統を反映した伝承芸能や祭礼については、その母体を町内会組織に依存していることが多く、今後のこれらの存続が危ぶまれている。</p> <p>歴史的風致の構成要素となる地場産業においても、高齢化等様々な要因により萩焼や水産物等、萩を支える伝統産業の担い手が減少する状況のなか、その担い手の確保と後継者の育成が急務となっている。</p>
対応する進捗評価項目とその推移	<p>①組織体制 萩の歴史的風致を活かしたまちづくりを市の中核的な施策として推進するため、「歴史まちづくり部」と「萩博物館」、総合政策部内の「ジオパーク推進室」を統合し、「まちじゅう博物館推進部」に改編し、体制の強化を図った。</p> <p>③歴史的風致維持向上に資する事業 萩市における歴史的風致の維持及び向上に寄与するソフト施策として以下の事業を展開している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・萩時代まつり ・萩夏まつり ・萩の和船大競漕「おしくらごう」 ・浜崎伝建おたから博物館 ・ワンコイントラスト(百円信託運動) ・萩ものしり博士検定 ・萩・万灯会 ・萩・大茶会 ・萩ものがたり出版事業 ・萩市伝統芸能フェスティバル ・萩焼まつり ・語り部活用事業 ・萩・幕末維新検定 ・萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業 <p>④文化財の普及・啓発 市内の無形民俗文化財を将来に伝承するため、「萩市伝統芸能フェスティバル」を隔年で開催している。</p> <p>(H24.11 参加者:800名) (H26.11 参加者:500名) (H28.11 参加者:600名)</p> <p>⑥中国地方歴史まちづくりサミットの開催 歴史まちづくり法に関する基調講演、認定都市の市町長によるパネルディスカッション、サミット宣言(H25.11.11 参加者:100名)</p> <p>⑥全国城跡等石垣整備調査研究会 基調講演、事例報告、石垣整備に係る討論会、現地見学会 (H26.1.23～25参加者:150名)</p>

<p>方針の達成状況・課題の改善状況に関する評価内容 (可能な限り定量的な評価を交えて自由記述)</p>	<p>毎年奉納されるお船謡(県指定民俗文化財)や奉納行列など萩市中心部の伝統行事に対する支援を行うとともに、各地域で継承されてきた無形民俗文化財保存のための支援を行うことにより、伝統行事や伝統芸能の継承が図られている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無形民俗文化財に対する助成 H23 3件 48,000円、H24 3件 48,000円、H25 3件 48,000円 ・伝統芸能団体に対する助成数 13団体 500,000円(H24) <p>萩・幕末維新検定の開催により、幕末から明治維新にかけての固有の萩物語を広く情報発信することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「萩・幕末維新検定」 H25 受験者数 353名(市内 156名 市外 197名) H26 受験者数 280名(市内 89名 市外 191名) H27 受験者数 316名(市内 123名 市外 193名) H28 受験者数 294名(市内 161名 市外 133名) <p>萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業の実施により、市内全域のおたから(文化遺産)のデータベース化と、これを後世に継承すべき萩の財産として認定する仕組みが構築された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業」 H25実施箇所 旧松本村地区、浜崎地区、旭地区、むつみ地域 H26実施箇所 堀内地区、土原地区、川上地域、福栄地域、三見地区 H27実施箇所 川島・藍場川地区、笠山・越ヶ浜地区、須佐地域 田万川地域、大井地区 H28実施箇所 椿地区、大島地区 <p>国の伝統的工芸品に指定されている「萩焼」の振興を担う中心的団体である、萩陶芸家協会の加盟作家110人(H25.3現在)による「萩陶芸大リーグ」や「萩の陶芸家たち展」などを開催することで、萩焼産業の振興と後継者の育成に繋がっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「萩陶芸大リーグ」 期日:H24.8.18～8.24 窯元弟子入り体験参加者 47名 ・萩陶芸家協会設立20周年記念「萩の陶芸家たち展」 期日:H25.4.6～H25.5.19 会場:山口県立萩美術館・浦上記念館 入込客数:3,789人
<p>達成状況の評価、要改善事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 想定通り効果が発現している □ 今後発現が予想される □ 要対策検討 □ 現段階では判断できない <p>(要改善事項)</p>
<p>計画見直しの必要性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 計画の見直しが不要 □ 計画の見直しが必要 <p>(見直しの理由・方針)</p>

総括評価シート【方針の達成状況等】

(様式2-1)

評価対象年度	26 年度～ 28 年度
計画に記載している方針	「江戸時代の地図がそのまま使えるまち」といわれるほど面として残っているかけがえのない文化財や歴史的な町並み及びそれらと豊かな自然とが一体となった希有な風景や景観などを積極的に保存し、これらを活かした市街地の整備及び生活環境の改善を図り、もって都市の健全な発展を目指す。
計画に記載している課題	萩には古代から藩政期、明治維新を経て現代に及ぶ長い歴史があり、それを物語るように多くの文化財や歴史的なまちなみが多く残されている。この長い歴史の中で生まれた様々な物語や出来事が次第に語り継がれなくなりつつあることから、萩まちじゅう博物館構想を踏まえ、市民一人一人が萩の歴史をしっかりと語り継ぐとともにその舞台となる歴史的まちなみ等、景観の保存、継承及び良好な景観の形成を図る必要がある。
対応する進捗評価項目とその推移	<p>②景観計画区域の変更 一般景観計画区域に小畑地区と椎原地区を追加し、建築物の高さ制限と屋外広告物の規制を実施した。</p> <p>③渡辺蒿蔵旧宅整備事業 経年により破損していた屋根や柱・梁・土台などの構造体の補修、内外壁の補修、荒廃していた庭園の整備、中門の復原等を実施した。</p> <p>③観音院観音堂修理事業 破損していた屋根・軒廻り、庇部分を解体し、部材を取り替えて組み立て直した。</p> <p>③森井家住宅整備事業 破損の著しい屋根、軸部を一旦解体し、在来工法により修理を行うことにより、御成道沿道の歴史的景観が維持・向上した。</p> <p>③歴史的まちなみ看板整備事業 市民及び観光客の回遊性の向上を図るため、歴史的風致形成建造物や文化財施設への案内看板、誘導看板等を整備した。(計6基設置)</p> <p>③旧萩藩校明倫館活用推進事業 旧明倫小学校校舎4棟のうち2棟を保存整備し、平成29年3月に本館及び2号館が「萩・明倫学舎」としてオープンした。</p> <p>④文化財の保存に関する事項 文化財の保存については、文化財保護指導員と協力し、各地域の文化財の巡視のもと、維持補修等を適切に実施するとともに、長期的な計画に基づき各年度ごとに保存修理事業や発掘調査事業を実施している。</p> <p>(平成26年度) 重要文化財大照院本堂及び経蔵保存修理工事(継続)、史跡萩城城下町青木周彌旧宅保存修理工事(継続)、史跡萩城城下町菊屋家住宅土堀保存修理工事(継続・完了)、史跡萩城跡本丸門跡石垣保存修理工事(継続・完了)、伝統的建造物保存修理 3件、伝統的建造物群保存地区内の修景 1件、文化財防火訓練(国重要文化財建造物旧厚狭毛利萩屋敷長屋)新規の文化財指定 市指定史跡 旧明倫小学校 市指定名勝及び天然記念物 弥富猿屋の柱状節理(猿屋の滝)</p>

	<p>(平成27年度) 重要文化財大照院本堂及び経蔵保存修理工事(継続)、史跡萩城城下町青木周彌旧宅保存修理工事(継続・完了)、史跡萩城跡北矢倉跡南方土堀跡調査及び保存修理工事(新規・継続)、史跡萩城城下町菊屋家住宅本蔵ほか3棟保存修理工事、伝統的建造物保存修理 4件、文化財防火訓練(国史跡旧萩藩校明倫館)</p> <p>(平成28年度) 重要文化財大照院本堂及び経蔵保存修理工事(継続)、史跡萩城跡北矢倉跡南方土堀跡保存修理工事(継続・完了)、史跡旧萩藩校明倫館復元整備(新規・継続)、史跡萩反射炉ほか5件整備基本計画策定(新規・継続)、史跡松下村塾及び吉田松陰幽囚ノ旧宅整備基本計画策定(新規・継続)、伝統的建造物保存修理 4件、文化財防火訓練(国史跡萩城跡)</p> <p>○H29.3.31現在の指定文化財の総数… (国指定 49件、県指定32件、市指定128件 総計209件)</p>
<p>方針の達成状況・課題の改善状況に関する評価内容 (可能な限り定量的な評価を交えて自由記述)</p>	<p>萩市の稀有な風景や景観を継続的に維持向上していくため、平成19年に策定した萩市景観計画を平成24年4月に改定し、一般景観計画区域の範囲を追加するとともに、萩市屋外広告物等に関する条例の適切な適用により、歴史的な町並みと調和した景観形成が進んでいる。ファーストフードや衣料品店等、全国展開している店舗が萩市へ進出する際も、萩市の景観に関する各条例に則した看板を掲げるなど景観形成に関しての企業の協力も得られている。このような一貫した景観形成への取組により、景観に対する認識が市民や業者にも浸透してきている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋外広告物等の届け出(継続申請を含む)件数1,001件(H23.4～H25.12) ・屋外広告物等の届け出(継続申請を含む)件数998件(H26.4～H29.1) <p>※基準に合致しない簡易な看板等については、平成23年度以前は、撤去する事案があったが、平成23年度からは看板等の撤去実績がなく、良好な景観を維持するための市民の意識が高まっている。</p>
<p>達成状況の評価、要改善事項</p>	<p>■ 想定通り効果が発現している □ 今後発現が予想される □ 要対策検討 □ 現段階では判断できない</p> <p>(要改善事項)</p>
<p>計画見直しの必要性</p>	<p>■ 計画の見直しが不要 □ 計画の見直しが必要 (見直しの理由・方針)</p>

総括評価シート【方針の達成状況等】

(様式2-1)

評価対象年度	26年度～ 28年度
計画に記載している方針	<p>行政と市民の協働体制のもとに、文化財施設の管理や文化遺産の調査・保存、伝統行事や伝承技術の保護など歴史的風致を維持及び向上させる活動を積極的に進め、もって「萩に住んでよかった」、「萩を終の住処にしてよかった」と日々実感できるような個性豊かなまちづくりを推進する。</p>
計画に記載している課題	<p>萩市における歴史的風致を保存、活用して、市民が誇りをもって快適に住めるまちにしていくこと、また、これを後世に継承することが、萩市のまちづくりの最重要課題である。</p>
対応する進捗評価項目とその推移	<p>③渡辺高蔵旧宅整備事業 まちじゅう博物館のサテライト施設として公開し、NPO萩観光ガイド協会が施設管理とガイドを年中無休で実施している。</p> <p>③観音院観音堂修理事業 風情ある漁村景観が維持・向上するとともに、地域住民の信仰のシンボルとなっている。</p> <p>③森井家住宅整備事業 破損の著しい屋根、軸部を一旦解体し、在来工法により修理を行うことにより、御成道沿道の歴史的景観が維持・向上するとともに、一般財団法人により公開が行われている。</p> <p>③萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業 歴史的風致維持向上支援法人であるNPO萩まちじゅう博物館が事務局となり、萩のまちに面的に広がるおたから(文化遺産)の調査・認定・公開を行う萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業に市民と協働で取り組んだ。(事業地区 旧松本村、浜崎、旭、むつみの計4地域)</p> <p>③旧萩藩校明倫館活用推進事業 旧明倫小学校校舎4棟のうち2棟を保存整備し、平成29年3月に本館及び2号館が「萩・明倫学舎」としてオープンした。</p> <p>④文化財の普及・啓発 ・世界遺産登録推進萩市民会議 ・明倫小学校跡地利活用検討委員会 ・文化財防火訓練 ・文化財の修理見学会 ・保存地区住民による清掃活動 ・旧小林家住宅整備活用協議会</p> <p>⑥第5回「プロジェクト未来遺産」 ～萩のおたからみんなで親しみ、みんなに広めるプロジェクト～ 歴史的風致維持向上支援法人であるNPO萩まちじゅう博物館により、進められている、市内のおたからを拾い上げる調査や、コアミュージアムである萩博物館の管理・運営、ワンコイントラストによる未指定文化財を守る運動などが評価され、「プロジェクト未来遺産」として登録された。</p> <p>⑥萩・明治維新150年記念関連事業の実施</p> <p>⑥萩・世界遺産ビジターセンター学び舎の整備、運営</p>

<p>方針の達成状況・課題の改善状況に関する評価内容 (可能な限り定量的な評価を交えて自由記述)</p>	<p>○地域の歴史的風致の中心をなす歴史的建造物については、本計画に基づく事業及び文化財の保存修理事業の実施により、計画的に修景・修復が進むとともに、完成後は、これらを民間に委託し、市民や観光客の交流の場として公開している。</p> <p>○「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」の平成27年の世界文化遺産への登録に向けて、内閣官房や文化庁等の関係機関や世界遺産登録推進萩市民会議と協力して啓発活動等を推進した。</p> <p>○平成27年7月に「明治日本の産業革命遺産 製鉄・鉄鋼、造船、石炭産業」が世界異文化遺産に登録され、萩反射炉をはじめとする萩市の5資産が構成遺産となっている。</p> <p>○官民で組織された明倫小学校跡地利活用検討委員会の4回にわたる検討・協議により、旧萩藩校明倫館跡地を今後、萩市の歴史、教育、観光等の拠点として整備するといった方針が示された。</p> <p>○旧明倫小学校校舎4棟のうち2棟を保存整備し、平成29年3月に本館及び2号館が「萩・明倫学舎」としてオープンした。</p> <p>○歴史的風致維持向上支援法人であるNPO萩まちじゅう博物館の活動により、市内のおたから(文化遺産)の調査、登録、公開が進むとともに、ワンコイントラスト運動の展開により、平成28年度までに10つの未指定文化財等の修復が実現している。また、支援法人が進めている「萩のおたからみんなで親しみ、みんなに広めるプロジェクト」が第5回「プロジェクト未来遺産」に登録されるなど、歴史的風致を維持向上させる先進的な取組を行う団体として全国的に注目を集めている。</p> <p>・計画に位置づけて整備し、公開している歴史的風致形成建造物 渡辺 蒿蔵旧宅(H24.4～ NPO萩観光ガイド協会に管理・活用委託) 観音院観音堂(H24.4～ 宗教法人観音院が管理) 森井家住宅(H25.4～ 一般財団法人森井家住宅保存財団が管理・活用) 旧萩藩校明倫館(H29.3～ 一部供用開始、NPO萩明倫学舎と協働運営)</p>
<p>達成状況の評価、要改善事項</p>	<p>■想定通り効果が発現している <input type="checkbox"/>今後発現が予想される <input type="checkbox"/>要対策検討 <input type="checkbox"/>現段階では判断できない</p> <p>(要改善事項)</p>
<p>計画見直しの必要性</p>	<p>■計画の見直しが不要 <input type="checkbox"/>計画の見直しが必要 (見直しの理由・方針)</p>

評価対象年度 26 年度～ 28 年度

・歴史的風致維持向上施設の整備・管理

代表的な取り組み①: 旧萩藩校明倫館活用推進事業

(取り組み概要)

萩市では、平成21年1月に萩藩校明倫館を歴史的風致形成建造物に指定し、これまでに明倫小学校の校舎本館の床や窓枠、本館前から南門前の通路、さらに敷地西側の土塀を改修し、歴史的価値の高い貴重な学校施設を維持してきた。その後、平成26年4月には、明倫小学校は、建築から78年が経過し、老朽化が進んでいることや安心・安全な教育環境を図るべく耐震性の観点から、小学校としての機能を隣接地に移転することとなった。

移転後の小学校跡地は、一部が国の史跡に指定されているほか、昭和10年建築の校舎棟4棟が現存するなど文化財的価値に加え、全国的にも例のない大規模な校舎棟は、萩の町並みに調和して壮大な歴史的景観を形成している。さらに跡地は、市街地の中心部に位置し、公共施設や公園、商店街に隣接する利便性の高い場所であることから、明倫小学校跡地利活用検討委員会による「明倫小学校跡地利活用基本方針」に従い、「歴史・文化・教育ゾーン」として位置づけ、観光の起点、教育伝承の場、生涯学習・市民活動の場、資料展示の場として活用することとして、歴史的風致の維持及び向上を図る。



上空からみた旧明倫小学校



筋交いによる補強の状況



完成(本館)

(自己評価)

旧萩藩校明倫館跡地に立地する旧明倫小学校の大規模な木造校舎棟は、萩市の歴史的風致の維持向上を図る上において、非常に重要な建造物であると考えます。また、建造物としての価値はもちろん、市街地の中心部に位置し、利便性の高い場所であることから、本物件の利活用にあたっては、観光客の増加等地域の活性化に大きく寄与するものであると期待されています。

従って、利活用については、明倫小学校跡地利活用検討委員会のほか懇話会等の開催により広く意見を聴取し、整備を進めています。平成29年3月には、校舎棟4棟のうち2棟の整備が完了し、「萩・明倫学舎」として先行オープンする。本施設は、萩を学び、萩を語る舞台として、また新たな観光の起点として、萩の歴史・文化・自然を発信する場となっており、萩市の歴史まちづくりに大きく寄与するものである。

(外部評価)

・外部有識者名(役職・肩書き等):NPO萩まちじゅう博物館 理事長 須子義久

・外部評価実施日:平成29年3月3日

・有識者コメント

旧明倫小学校の校舎棟は、萩市における歴史・文化のまちづくりにおいても重要な建造物で、学校施設として使用されなくなった後も、国の補助事業により保存・活用のために整備されたことは、高く評価する。

また、施設整備による利活用については、ソフト面が重要と考えるが、「萩・明倫学舎」として先行オープンする本館と2号館は、萩まちじゅう博物館観光インフォメーションセンターや幕末ミュージアム、世界遺産ビジターセンター、ジオパークビジターセンターなど様々な情報発信を行う施設として位置づけられており、今後、観光や経済の一層の活性化に繋がることを期待する。

今後は、「幕末・維新の萩物語」を学び、語り広め、次の世代に伝える施設として、残る2棟の整備・活用も含めた全体的な取り組みの中で、萩博物館など他の施設とも連携し、歴史的風致の維持及び向上のために、その機能と役割を十分に果たしていくことが重要となる。



[書面審査]



[現地審査]

(今後の対応方針)

本事業は、平成30年度に完了予定であり、旧明倫小学校の校舎棟は、先行して一部が供用開始となっている。残り2棟の整備においても一体的な利活用を図るとともに、施設の管理・運営については、萩市とNPO萩明倫学舎が協働で行うことにより、歴史的風致の維持及び向上に努める。

法定協議会等におけるコメント

(様式4)

評価対象年度	平成28年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 萩市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 平成29年3月6日	
(コメントの概要)	
協議会議事	
(1) 萩市歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価について ⇒各担当者より評価シートについての説明	
(2) 萩市歴史的風致維持向上計画の変更について ⇒担当者から計画の変更内容について説明	
(3)その他	
コメント等	
今後計画されている事業について、追加するべきではないか。	
(今後の対応)	
萩市歴史的風致維持向上計画は、平成30年度までとなっており、計画期間内の事業のみを記載している。今後、計画期間終了後、第2次計画策定について検討を進める。	